

とやま 防災ハンドブック



 富山県

中学生版

1. 家族で話し合おう!

「地震がおきたとき、どうすればよいか」や、「家族が別々になったときの連絡はどうすればよいか」について、日頃から、家族で話し合みましょう。

緊急時の連絡先

家族の連絡先を確認しておきましょう。



緊急時の集合場所

近所の避難場所や、家族の集合場所を確認しておきましょう。

緊急時の役割分担

火の点検・始末や、非常持出品の担当など、いざというときの家族の役割を決めておきましょう。

「災害時 避難カード」に、もしものときの集合場所などをメモしておきましょう。

災害時 避難カード

● 家族の集合場所(避難場所等)

[地震の場合]

[津波の場合]

[洪水の場合]

[土砂災害の場合]

メモ

※いざという時のために、記入しておき、常に持ち歩こう。



一覚えておこう！応急手当一

2. いざという時のために

出血しているとき

○傷口を圧迫する

傷口にガーゼや清潔なハンカチなどを直接当てて強く押さえます。



○傷口を心臓より高くする

傷口が指や腕なら、傷口を心臓より高い位置にもっていくことで出血が減ります。



⚠ 注意

感染症のおそれがあるので、ビニール・ゴミ袋を利用し、血液に直接触れない。



火傷したとき

①すぐに水で冷やす

洗面器に水道水を流しっぱなしにして火傷した手足などをつけます。



②患部にガーゼを当てる

冷やした後、火傷した部分を清潔なガーゼや布で軽く包み、すぐに医療機関へ行きます。



⚠ 注意

水ぶくれをつぶすと感染が起きやすくなります。そのまま早めに医療機関へ行きましょう。



心肺蘇生やAED講習を受講しよう

家族や友達のため、AEDの使い方や心肺蘇生の方法をマスターしましょう！

3. 自分で身を守ろう!

1 地震

地震は、いつ起こるか わかりません。
自分の安全を守るため、どうすればよいでしょうか?

●屋内のとき

対策1

地震で揺れを感じたら、机やテーブルの下にもぐって頭を守りましょう。



対策2

揺れがおさまったら、火の元を確認しましょう。テレビやラジオで正しい情報を得ましょう。



対策3

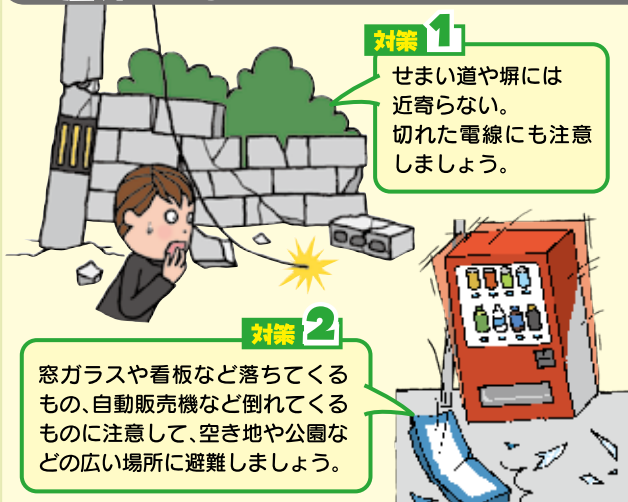
本棚やタンスは金具でしっかり固定しておきましょう。



●屋外のとき

対策1

せまい道や塀には近寄らない。切れた電線にも注意しましょう。



対策2

窓ガラスや看板など落ちてくるもの、自動販売機など倒れてくるものに注意して、空き地や公園などの広い場所に避難しましょう。



緊急地震速報とは

震源に近い地震計でとらえたデータに基づき、強い揺れが来ることをテレビや携帯電話等ですばやく知らせる情報です。あわてず、落ち着いて身を守りましょう。



3. 自分で身を守ろう!

2 津波

東日本大震災では、津波により多くの命が失われました。
日頃から津波に備え、万全を期しましょう。



津波の速さ

沖合ではジェット機なみ、陸地に近いところでも自動車なみの速さ。津波が見えなくても、大切な自分の命を守るために、率先して必死に逃げよう!



3 風水害

富山県の歴史は、水害との闘いの歴史です。
大雨による浸水、土砂災害や、台風に伴う大雨に注意が必要です。

大雨

●大雨が起きると

川の水かさが増えたり、はんらんしたりします。また、用水などもあふれ、道路がかんすいします。



●避難するとき

対策

水かさが増え、ひざまで来ると歩けなくなるので、川や用水があふれる前に早めに避難しましょう。水路やマンホールに落ちないように気をつけましょう。水があふれて危ないときは、無理に移動せず、家の2階に避難しましょう。



台風

対策

- ・風が強くなる前に避難しましょう。
- ・むやみに外に出ないようにしましょう。

※台風は大雨を伴うことがあります。大雨にも気を付けましょう。

3. 自分で身を守ろう!

4 土砂災害

土砂災害は大雨や融雪、地震等によって発生します。梅雨などの雨が強く降る時期は注意が必要です。雨が一度に多く降ったとき、降り続けているときは特に注意しましょう。

前兆現象を察知しよう(見つけたらただちに避難)

地すべり (広い範囲で地面がすべり落ちる)

- ・ 沢や井戸の水が濁る。
- ・ 地面にひび割れができる。
- ・ 斜面から水が湧き出す。
- ・ 家や擁壁、樹木や電柱が傾く。



がけ崩れ (斜面が崩壊し、土砂などが崩れ落ちる)

- ・ がけから水が湧き出ている。
- ・ 小石がパラパラ落ちてくる。
- ・ がけに亀裂が入る。



土石流 (大量の水と一緒に土砂や岩石が谷を流れる)

- ・ 山鳴りがする。
- ・ 土くさいにおいがする。
- ・ 急に川の流れが濁り、流木が混ざっている。



5 雪害

富山県では西高東低の冬型の気圧配置が強まった際は、大雪に警戒が必要です。



56豪雪(昭和56[1981]年)
富山市で160cm、南砺市利賀村で430cmなど、身長より高く雪が積もりました。

- ・ 屋根の雪下ろしを手伝うときは、必ず命綱と滑り止めをつけ、一人での作業は避けましょう。

- ・ 雪が積もって狭くなった道路を歩くときには、車に気をつけましょう。車は滑って急には止められません。
- ・ のき下を歩くときには、落下する雪(落雪)に気をつけましょう。
- ・ 横断歩道の白い部分や車が入りやすい場所は滑りやすくなっているので気をつけましょう。
- ・ 雪で側溝などが見えなくなっていることがあるので、足元に気をつけましょう。
- ・ 不要不急の外出は控えましょう。



3. 自分で身を守ろう!

6 原子力災害

東日本大震災では、福島第一原子力発電所で事故が起こり、放射線を出すもの(放射性物質)が発電所の外に出てしまいました。

原子力発電所など放射性物質を有している施設の事故により、放射性物質が風に乗って飛んで来ることがあります。

原子力災害から身を守る方法

もしも事故が起こったら、大人の指示に従いましょう。

- ・ 建物の中に退避する。
- ・ 事故の場所から遠ざかる。(避難)
- ・ マスクやハンカチで口をふさぐ。 など



氷見市の一部が石川県にある原子力発電所から30km圏内(※)に入ることから、国・県・氷見市等で対策を進めています。

※原子力災害に備えて重点的に準備をする区域 (UPZ)

7 火山災害

日本には100を超える活火山があり、噴火すると、大きな岩石(噴石)や火山灰などが降ってきます。

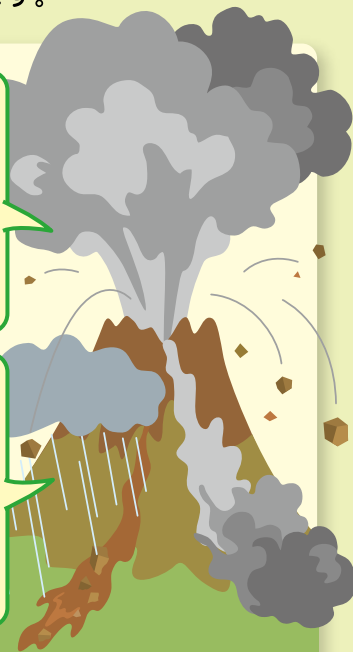
火山災害に備える

- ・ 噴火が想定されている火口や噴石などが飛ぶ範囲を知っておきましょう。
- ・ 登山のときにはヘルメットをかぶりましょう。

突然の火山噴火から身を守る方法

- ・ 急いで近くの頑丈な建物の中に退避しましょう。
- ・ 建物内では、窓ガラスから離れましょう。

立山室堂には弥陀ヶ原火山があります。



地域で助け合おう

自主防災組織とは…

住民が「みんなのまちはみんなで守る」という連帯意識で自主的に作る組織です。

まず、自分の身を守ろう。そして、家族や地域の一人として自ら行動しましょう！

大規模な災害になればなるほど、消防・警察・自衛隊をはじめとした公的機関などによる救助（公助）には限界があります。このため、災害から身を守るためには自分〔家族〕の身は自分〔家族〕で守る（自助）、近所の人などの助け合い（共助）が重要になってきます。

家族・地域の一人として助け合おう。

例えば

- ・物資の運搬等避難所の運営を手伝おう。
- ・困っている人を助けよう。

地域の人たちとの関係が大事。普段から地域の行事や防災訓練にも参加しよう。



3. 自分で身を守ろう！

防災情報

災害を防いだり、災害から身を守るには、最新の情報を入手するのが重要！最新の防災情報を確認して備えましょう。

● 気象情報、防災関連情報全般

富山防災Web

<http://www.bousai.pref.toyama.jp>

富山地方気象台 <https://www.jma-net.go.jp/toyama/>



● ハザードマップ

ハザードマップには災害から身を守るための情報がのっています。自分の家が大丈夫か、災害がおきたときどこに逃げるのかハザードマップで確認しましょう。

- ・国土交通省ハザードマップポータルサイト
<https://disaportal.gsi.go.jp/>

● 避難情報ととるべき行動

避難についての情報をチェックしましょう。

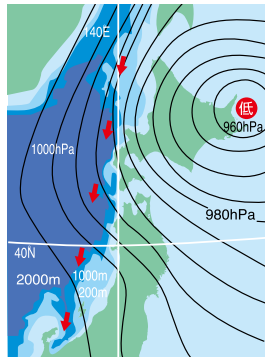
危険度	種類	とるべき行動
高 ↑ 低	避難指示 (緊急)	まだ避難していない人は直ちに避難しましょう。
	避難勧告	避難場所や安全な場所へ速やかに避難しましょう。
	避難準備・ 高齢者等避難開始	避難に時間のかかる人は避難を開始しましょう。その他の人はいつでも避難できるように準備をしましょう。

4. 富山県特有の災害を学ぼう!

1 寄り回り波

富山湾では「寄り回り波」と呼ばれる本県特有の高波がたびたび発生し、被害をもたらしています。風がおさまった頃に突然襲ってくることもあり、注意が必要です。

●寄り回り波発生時の天気図例



主に冬季、北海道の西方海上で発生した高波が南下し、富山湾で波が高くなり、海岸に押し寄せます。

入善町芦崎地区では、最大10m程度の高い波が堤防を乗り越え、道路や民家にも大きな被害をもたらしました。



平成20年2月の寄り回り波

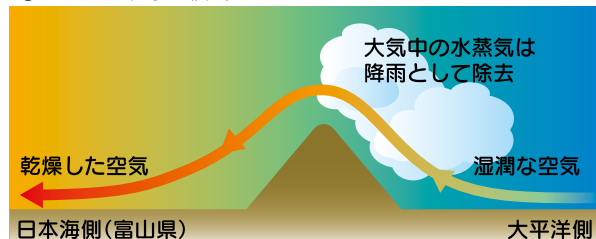
波についての警報が出ているときは、海に近づかない。避難勧告が出たらすぐに避難しよう。

2 フェーン現象による火災

富山県では、春と秋を中心に「フェーン現象」が見られます。出火率が全国で最も低い本県ですが、過去の大火の経験を忘れず、細心の注意をはらう必要があります。

湿った空気が山を越えた時に暖かく乾いた空気となって、山を吹き降りてくる現象をいいます。

●フェーン現象の模式図



火事に注意!

- ・フェーン現象発生時には、乾燥注意報や火災注意報・警報が発令されることがあります。
- ・住宅火災以外に林野火災も発生しやすくなります。



富山県の災害の歴史を学ぼう! その1

災害が少ないと言われている富山県でも、過去には、災害により大きな被害を受けています。また、県内には多くの活断層があり、これらが動いた場合M7程度の大地震になると予想されています。身近な地域の災害について、家族で確認しておきましょう。

※このほか、海には津波を引き起こすおそれのある断層があります。

高岡地域

1934年7月 庄川大洪水
(昭和9年) (死者20名、流失家屋94戸)

1964年7月 地すべり
(昭和39年) (氷見市の住宅62戸が全壊)



S39 胡桃地すべり被害(氷見市)

2008年2月 寄り回り波
(平成20年) (射水市で死者1名)

砺波地域

1979年4月 福光大火
(昭和54年) (負傷者41名、家屋全焼122棟)

1981年1月 豪雪
(昭和56年) (死者12名、旧利賀村が孤立)

1983年7月 地すべり
(昭和58年) (小矢部市内、国道359号2km崩壊)

1991年9月 小矢部大火
(平成3年) (31の建物が焼失)

2008年7月 集中豪雨
(平成20年) (南砺市で孤立集落が発生)



H20 集中豪雨(南砺市)

富山地域

1991年2月 寄り回り波
(平成3年) (死者1名、浸水7棟、護岸破損)

2004年10月 台風23号
(平成16年) (行方不明1名、浸水490棟)

2008年8月 集中豪雨による内水氾濫
(平成20年) (浸水211棟)



H16 台風23号(富山市)

新川地域

1956年9月 魚津大火
(昭和31年) (市街地40%焼失、死者5名)

1969年8月 集中豪雨による
黒部川破堤
(昭和44年) (粟本橋ほか2橋流失、家屋の流失
全壊7戸、半壊・床上浸水410戸)

2008年2月 寄り回り波
(平成20年) (死者1名、家屋全半壊57棟、
浸水161棟)



H20 寄り回り波(入善町)

富山県の災害には、
地形や気候も関係があるんだ。



1858年

安政の大地震

(飛越地震)



1858年4月(安政5年2月)、震度6の大地震が発生。立山連峰の大鷲山・小鷲山がくずれ、たまった土砂が一気にくずれて、富山平野に大きな被害が出ました。立山カルデラ内には、今でも約2億立方メートル(東京ドームの約160倍)もの土砂が残っているといわれています。

ふらっと学習

100年以上続く大プロジェクト。

立山カルデラにたまった土砂が全て流れ出すと、富山平野全体で2m以上の高さになると言われています。それを防ぐための砂防工事は、100年以上前から始まり、現在も続いています。

そんな大変なことが…!



1956年

魚津大火



1956年(昭和31年)9月、フェーン現象で乾燥した強風が吹く中、魚津市で発生した火事は瞬く間に拡大しました。当時の市街地は、道幅も狭く、消火活動もはかどりませんでした。大火後、市街地は住民の協力を得て、商店街を防火建築帯として再整備するなど、火災に強い都市として再生されました。

ふらっと学習

27年連続「火災の少ない県日本一」。

富山県は昭和30年代まで全国でも火災の多い県でしたが、平成3年から平成29年まで、27年連続で「火災の少ない県日本一※」を達成しています。

※富山県は、「出火率(人口1万人あたりの出火件数)」が全国で最も低い県です。

6.

富山県広域消防防災センターで、 いろいろな災害を体験しながら学ぼう!

富山県広域消防防災センターとは…

- ・消防士や消防団員の全国トップクラスの訓練施設です。
- ・また、中学生の皆さんや、家族の皆さんが防災について学べる施設です。

- ・日本一の高さの主訓練塔
- ・深さ10mの潜水プール など

H24年4月
富山市惣在寺でオープン

災害を四季でとらえた体験型学習施設

地震体験

地震の揺れを機械で再現するよ。
君も大地震の揺れを感じてみよう!



雪崩体験

雪崩の様子を再現するよ。
しゃがんで観察すると、
大迫力!

災害が起こりやすい季節 **冬** **春**

煙体験



火事が起こった部屋の中から、
煙の中を避難しよう。
君は避難できるか!?

風雨災害体験



専用の部屋の中で、豪雨と
暴風を体験するよ。
君は立ってられるかな?

災害が起こりやすい季節 **夏**

流水体験



15cm、30cm、45cmの深さの
水の中を歩く体験をするよ。
歩にくさは想像以上?

強風体験

フェーン現象など、富山県
特有のいろんな風がおこる
仕組みがわかるよ。

災害が起こりやすい季節 **春** **秋**

寄り回り波体験

大型スクリーンで、寄り回り
波の高さを再現するよ。驚き
の高さを見に行こう!

災害が起こりやすい季節 **冬**

いざという時のために

家に非常持出品が準備してあるか、
家族でチェックしましょう！



●非常持出品リスト(主なもの)

- 非常食(乾パン、缶詰等) 飲料水
- 貴重品(現金、預金通帳、印鑑等)
- 情報機器(携帯電話、モバイルPC、充電器等)
- 身分証明書(パスポート・運転免許証、保険証)
- 救急用品(救急セット、マスク、生理用品等)
- 要配慮者用品(粉ミルク・ほ乳びん、紙おむつ等)
- 防災用品(ヘルメット、軍手、懐中電灯、携帯ラジオ、
笛、カイロ、予備電池等)
- 衣料品(暖かい衣類、下着、タオル、ハンカチ、雨具、毛布等)
- 火気(ろうそく、ライター・マッチ、固形燃料等)

このほかにも必要なものがないか、
家族みんなで確かめてみよう。



()

発行：富山県防災・危機管理課

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

TEL:076-444-3187 FAX:076-432-0657



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

H30.12 作成